

2007 ねんのもくひょう

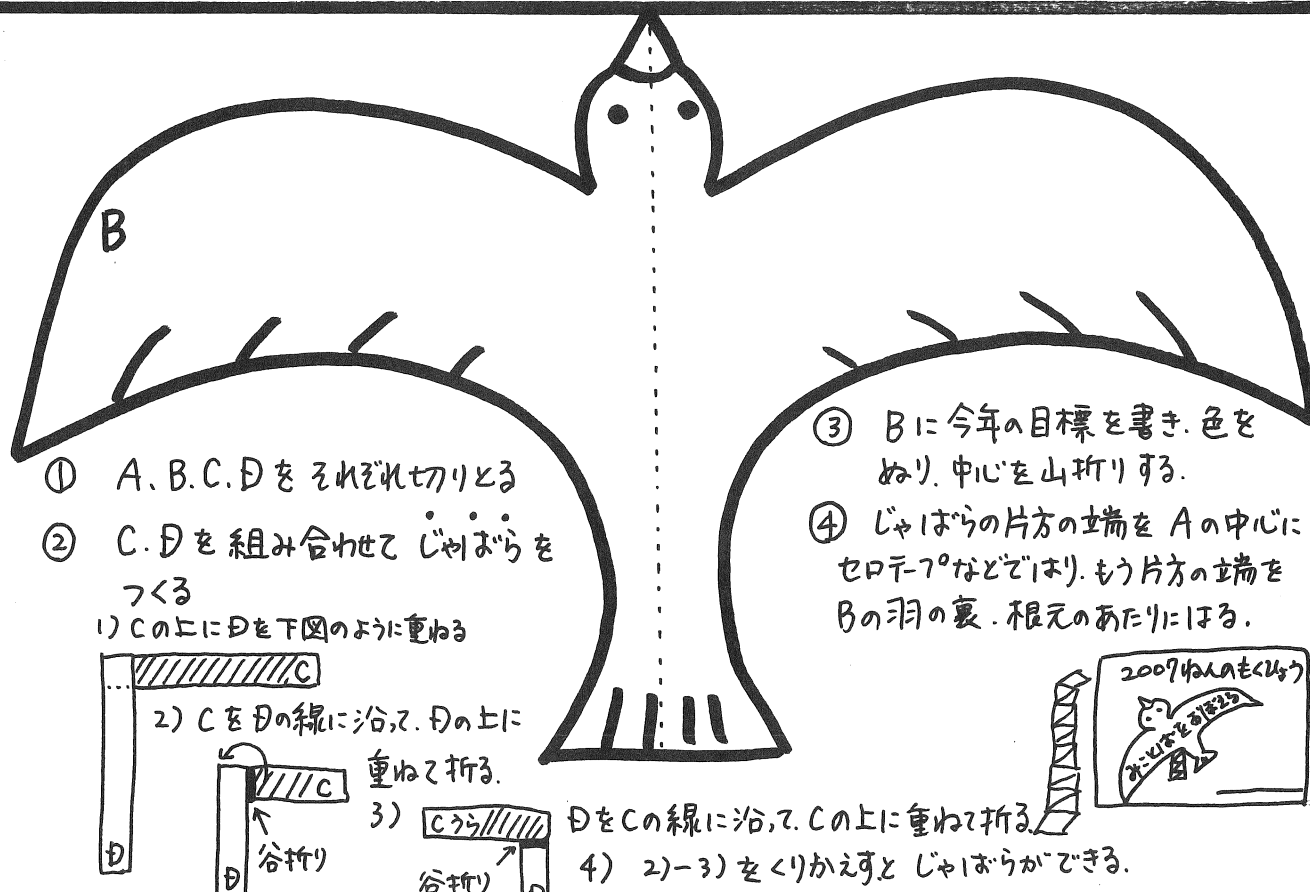
C

D

かみさま
あたらしいみわざを
おこなってください!

なまえ _____

A



1 / 14 せいしょにしたしむ

エペソ 6・18

五二七

[illegible]

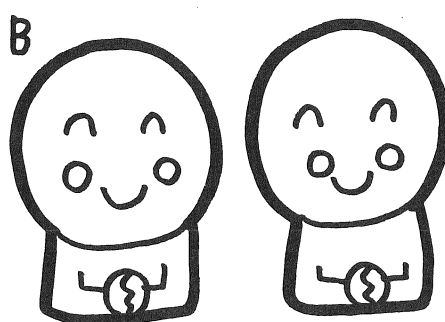
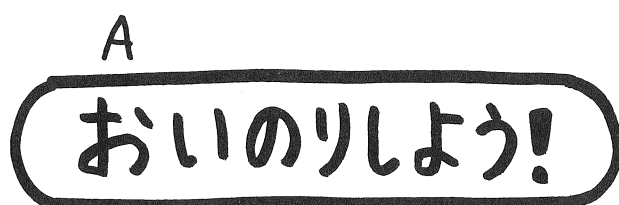
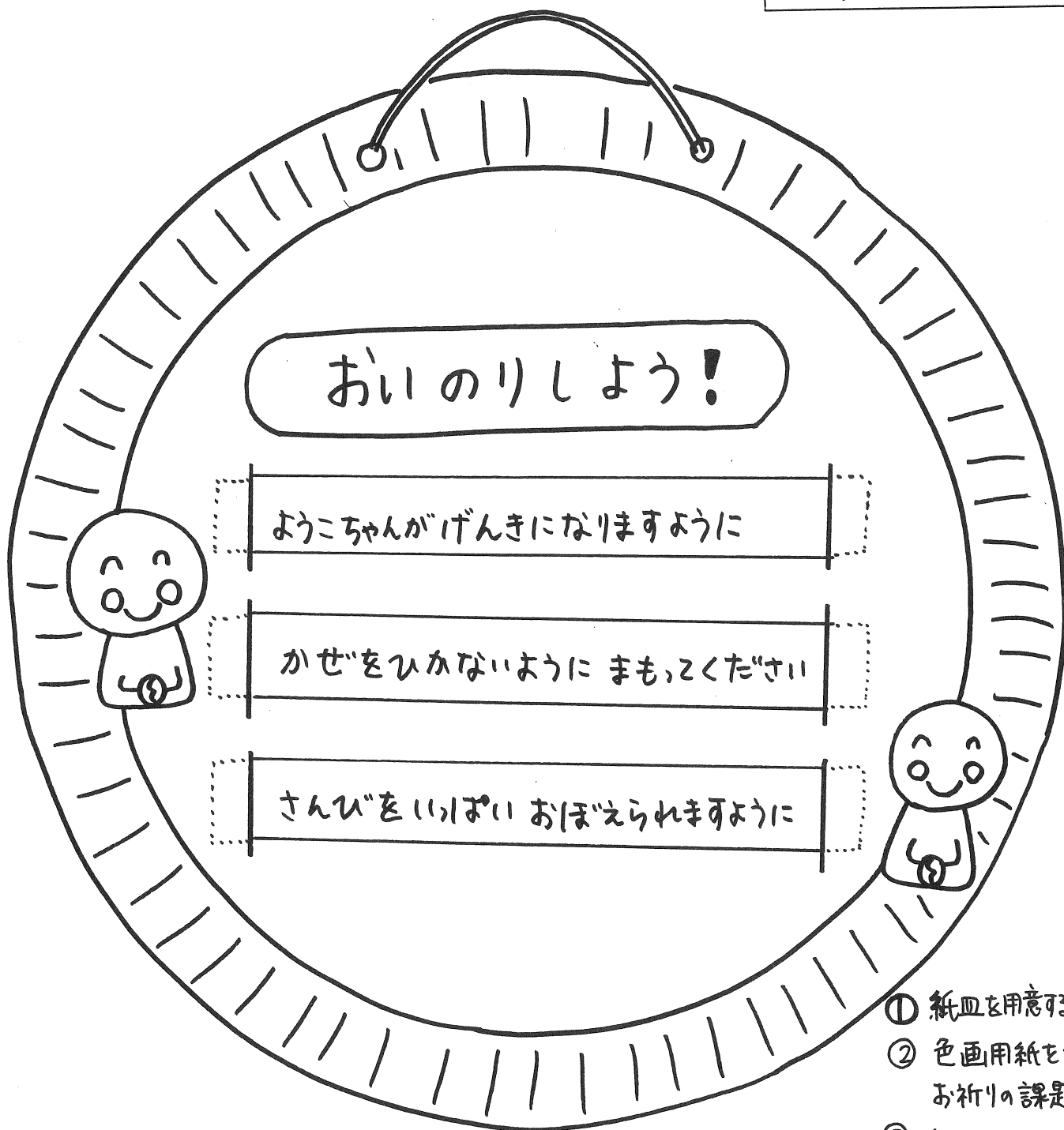
91210

● のマスにぬりましょう。どんなことばがでてくるかな？

A 1 / 2 1 いのりのせいかつ

すべてのせいとのために
いのりつづけなさい。

エペソ 6・18



- ① 紙皿を用意する
- ② 色画用紙を切り、お祈りの課題を書
- ③ 紙皿に切り込みを入れ、画用紙の両端をさし、裏をセロテープでとめる。
- ④ A、Bに色をぬり、切りとり、紙皿の好きな所にはる
- ⑤ 穴をあけ、ひもを通してでき上がり

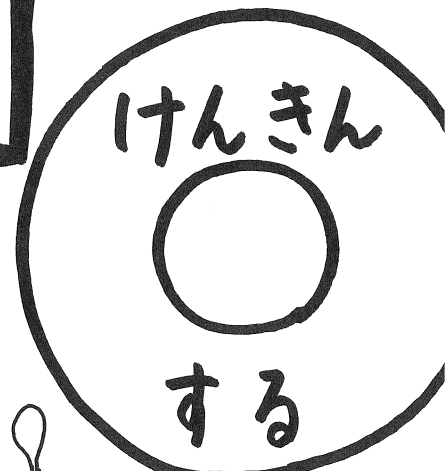
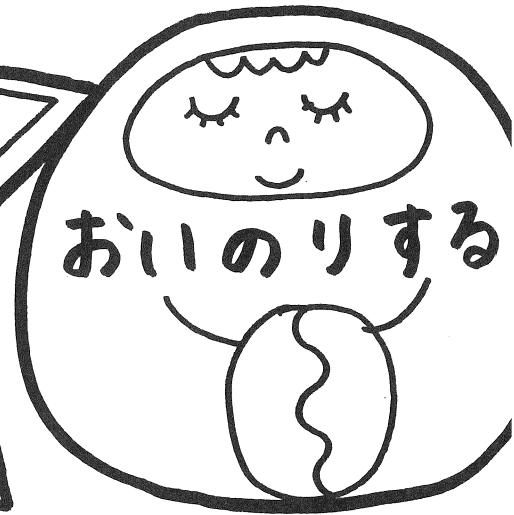
A

1/28

しゅうかいしゅっせき

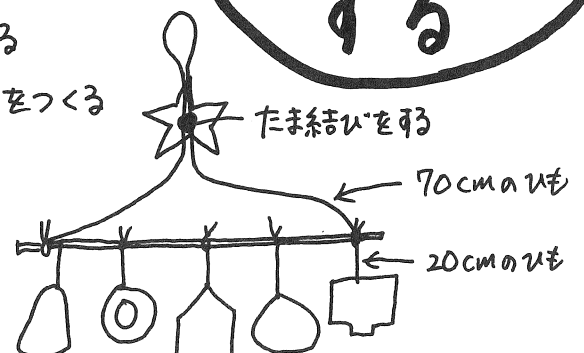
すべてのせいとのために
いのりつけなさい。

エペソ 6・18



- ① 25cmくらいの竹うご1本
70cmのひも1本
20cmのひも5本を用意する
- ② 色をぬり 切りとる
- ③ 図のようにモビールをつくる

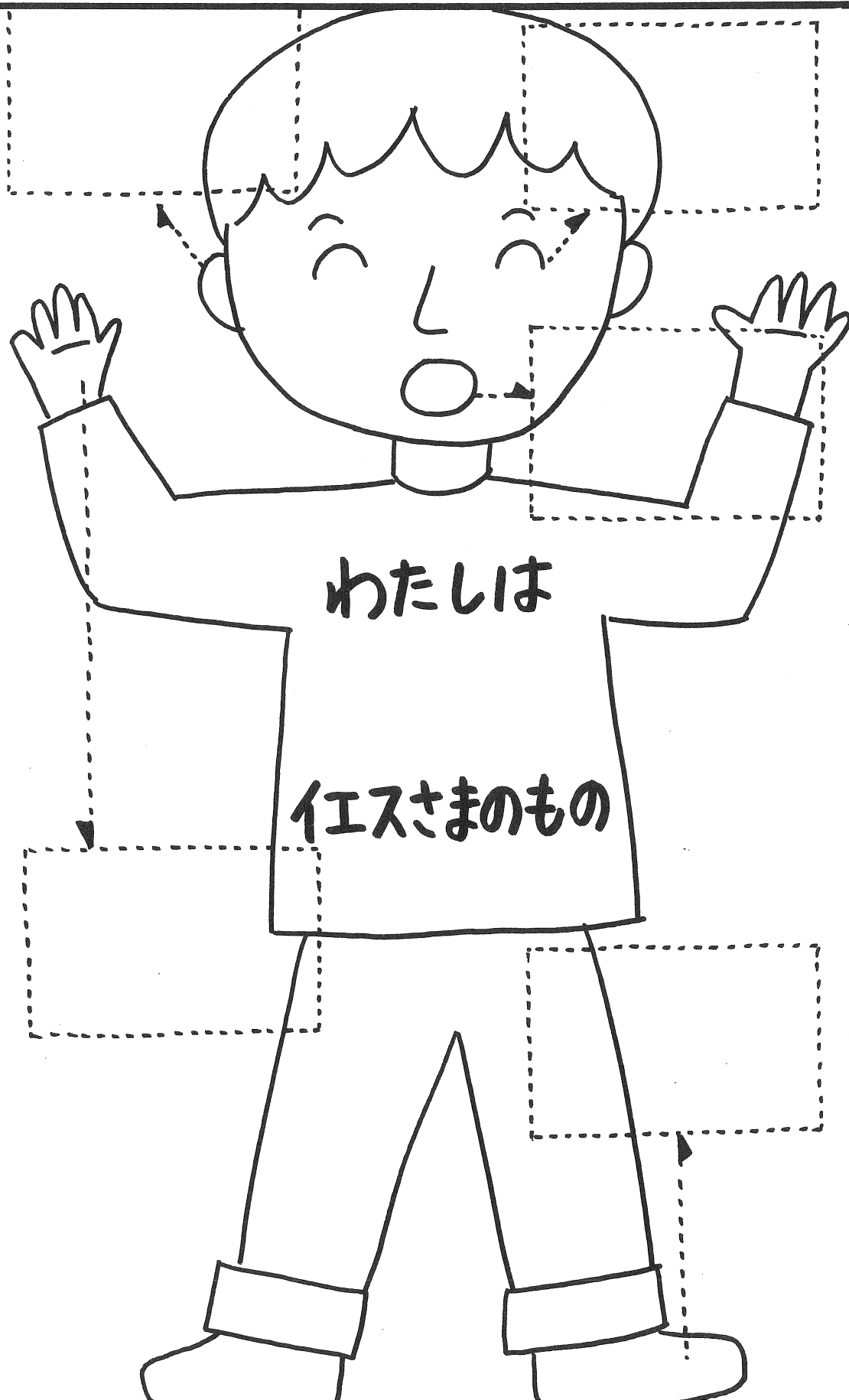
※ 切りとった糸は
セロテープでとめると
簡単です。



A 2 / 4 よろこびのれいはい

よろこぶものとともによろこび、
なくものともになきなさい。

ローマ 12・15



かみさまのみちを



あるきます

みことばを



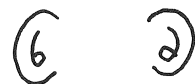
まいにちよみます

イエスさまを



さんびします

イエスさまの



おはなしをききます

イエスさまの

よろこぶしごとを
します



上の5つの□を

切りとて、

あてはまる□に

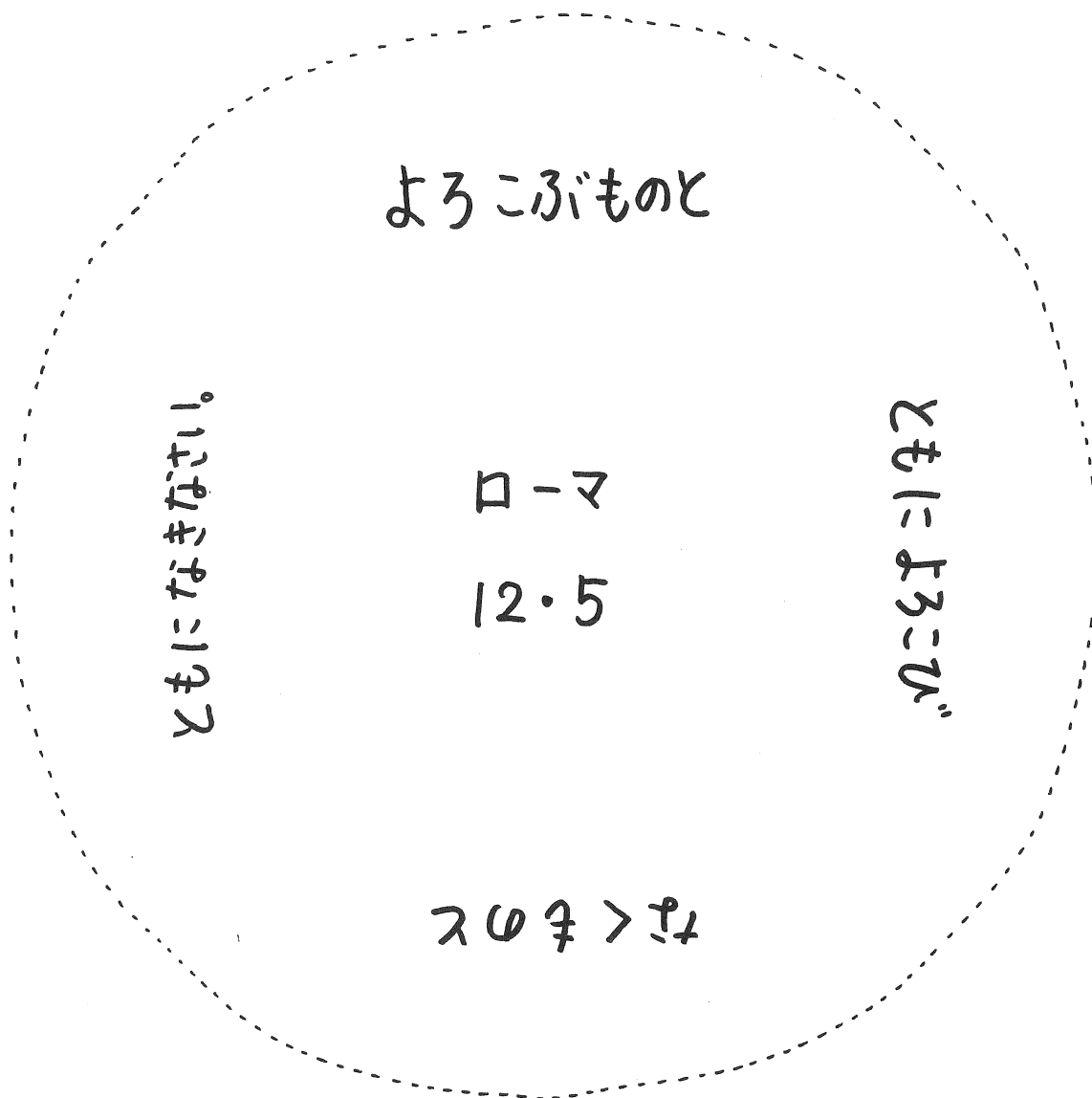
はりましょう。

※「あてはまる□」を
さんびしながら
しましょう。

A 2 / 1 1 あいのまじわり

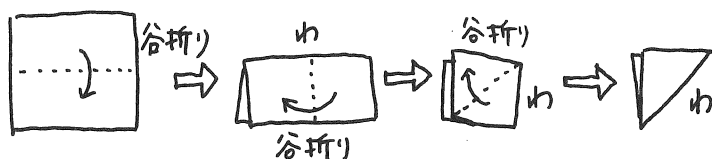
よろこぶものとともによろこび、
なくものとともになきなさい。

ローマ 12・15



① 15cm × 15cm の折り紙 1 枚 用意する。

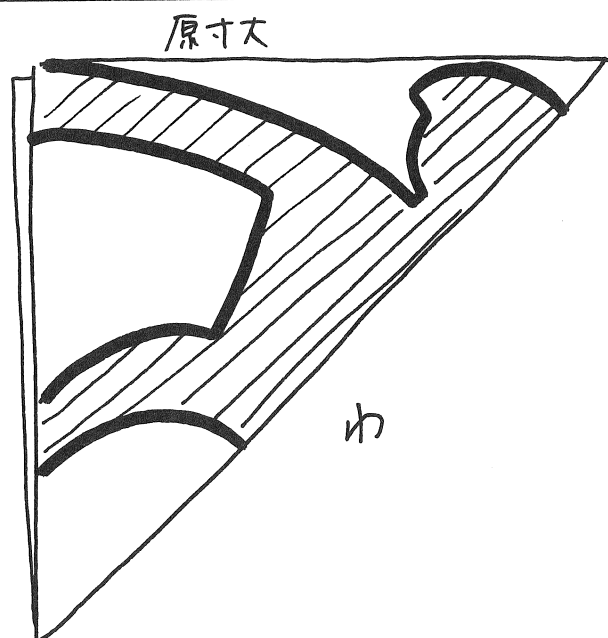
② 色のついた面を外側にし、折る



③ 折ったものに、右図のように切り込みを入れる。
(切りにくいので、先生が切らせてあげてください。)

④ 色紙を広げ、上の台紙にはる。

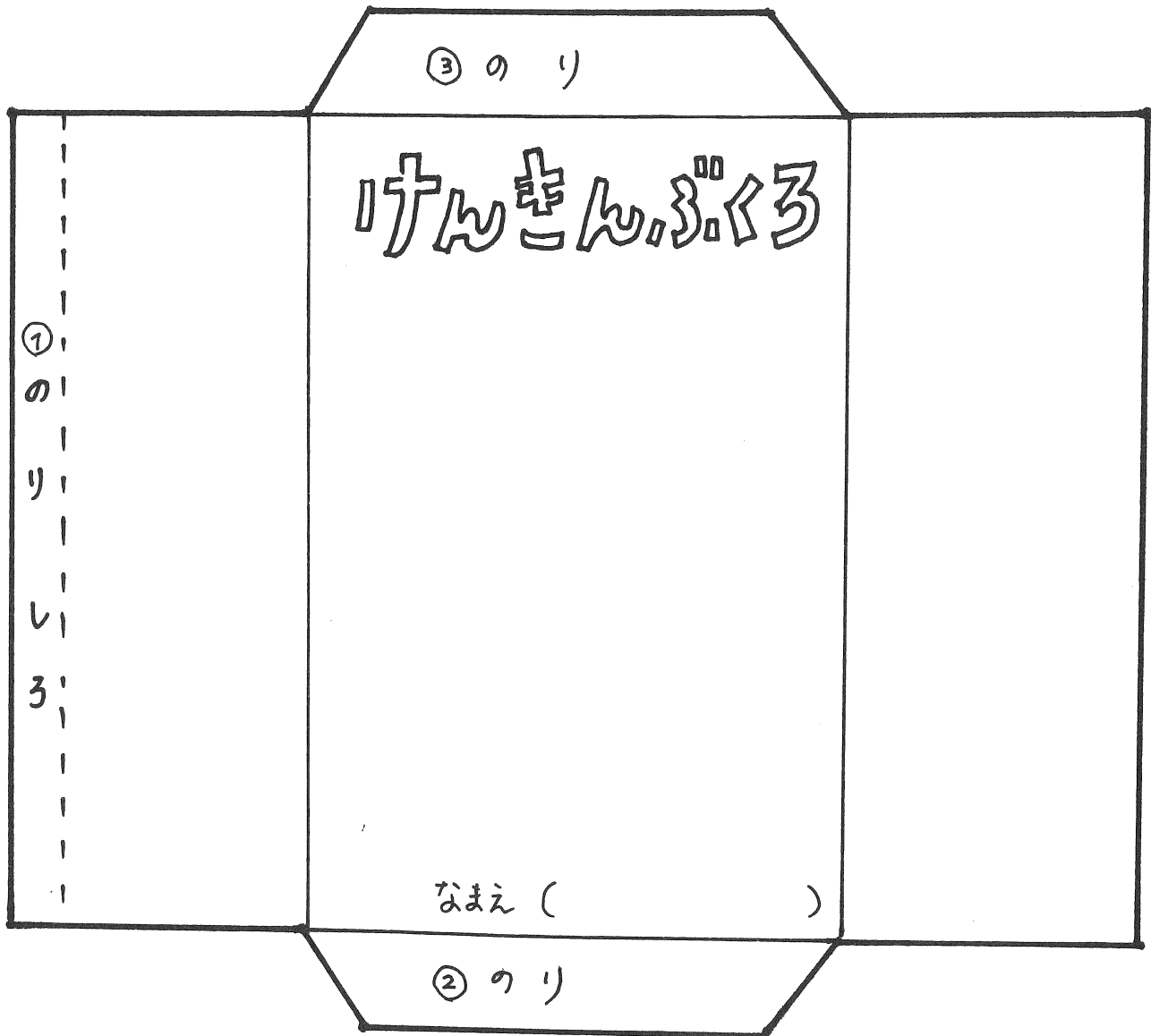
⑤ 彦根の表情などを書きこむ。



A 2 / 18 ^{けんきん} ^{よろこ} 献金の喜び

^{よろこ} ^{もの} ^{とも} ^{よろこ} ^な ^{もの} ^{とも} ^な
喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

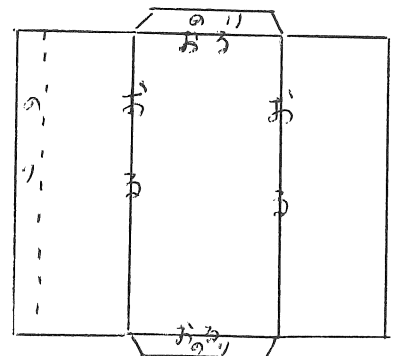
ローマ 12・15



< つくりかた >

- ① ^{ひょうし} ^え 表紙に 絵をかく
- ② ^{ふと} ^{せん} 太い線をきる
- ③ ^ず 図のおりせんを ある
- ④ ① ~ ③ の ^{じかん} 裏にのりをつくる

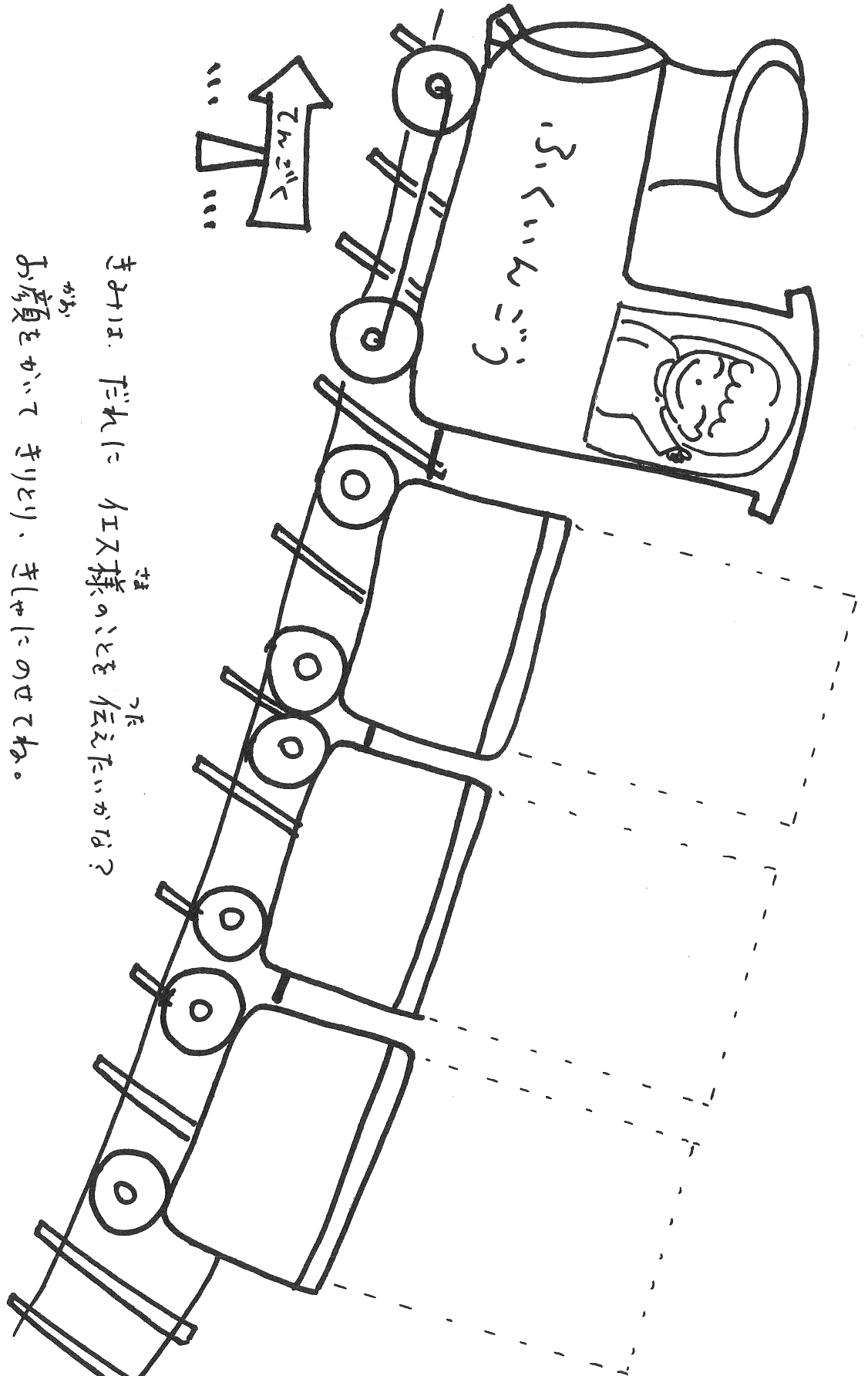
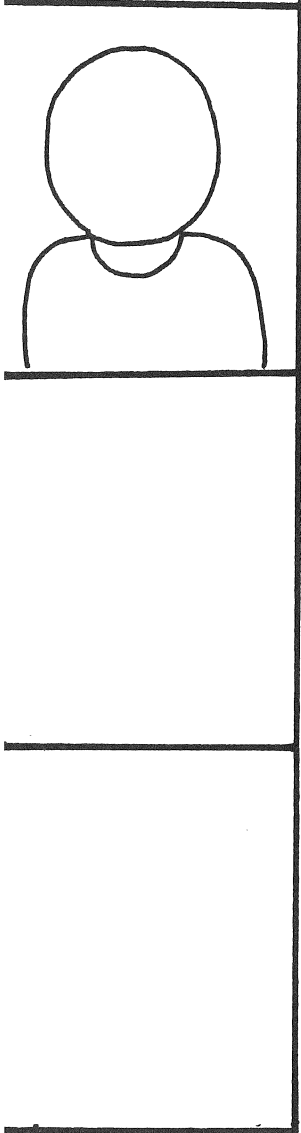
(どのような献金があるか、先生に聞いてみましょう。)



A 2 / 25 でんどう 伝道しよう

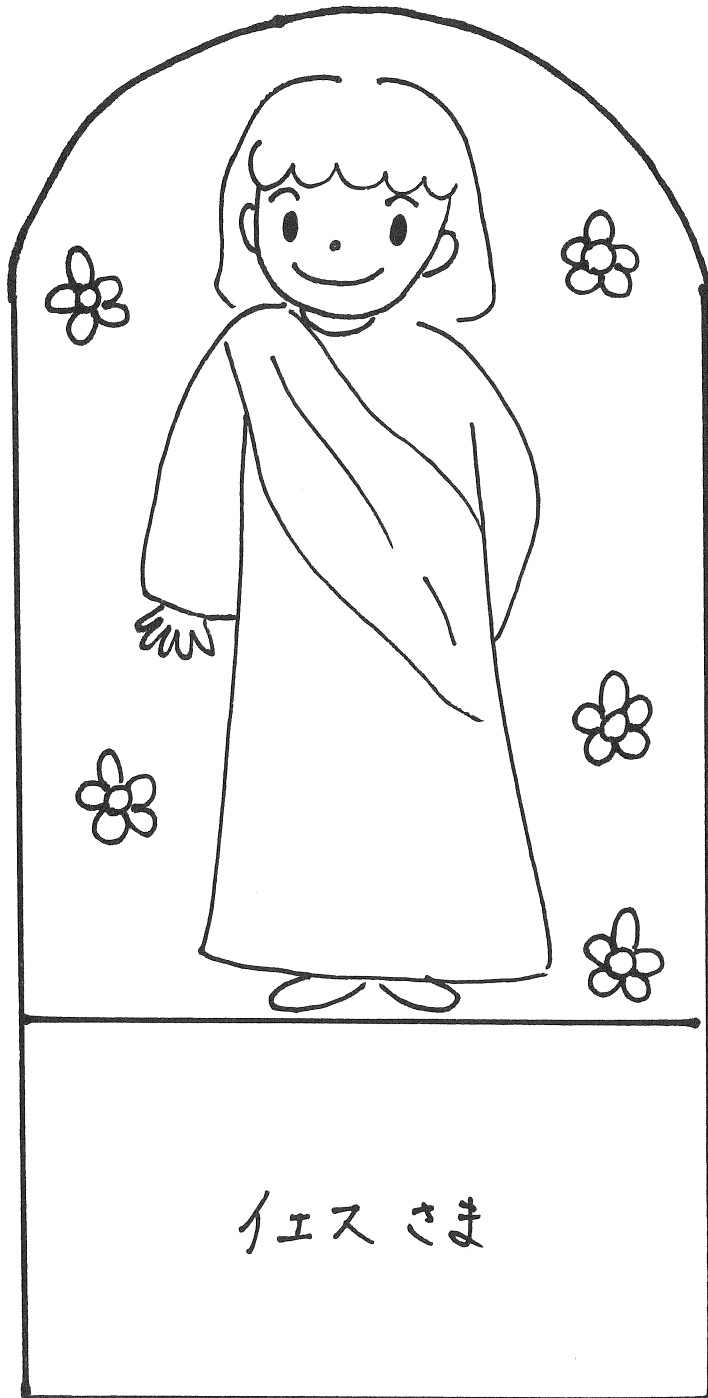
よろこ もの とも よろこ な もの とも な
喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

ローマ 12・15



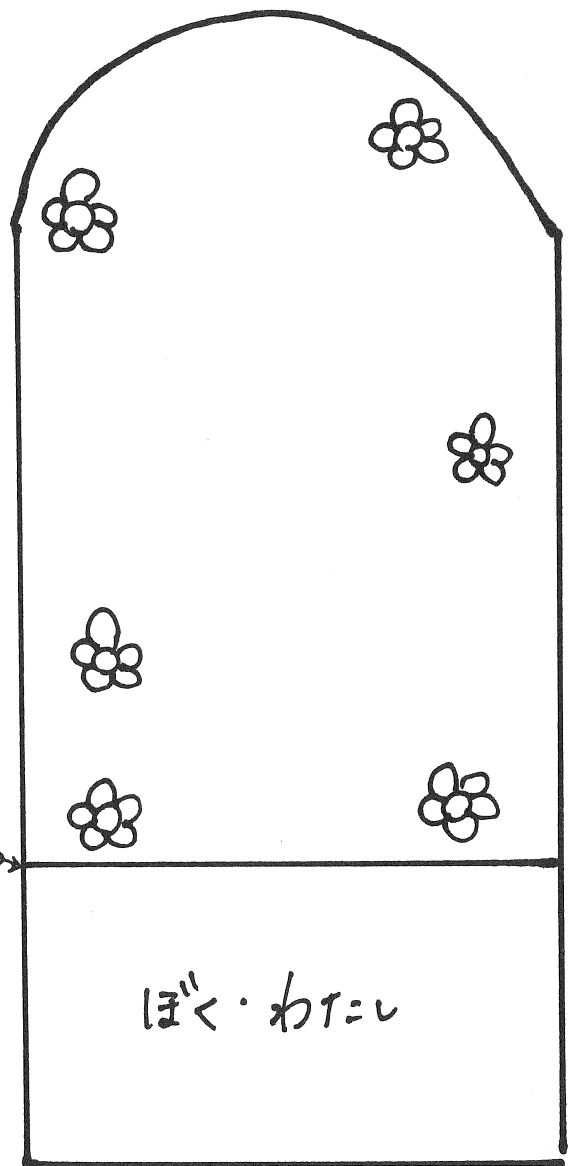
A 3 / 4 ^{こひつじ} ^{こんえん} 小羊の婚宴

^{あたら} ^{てん} ^{あたら} ^ち ^み ^{もくしろく}
新しい天と新しい地とを見た。黙示録 21・1



イエスさま

あ
な
か
に
お
り
た
た
せ
る

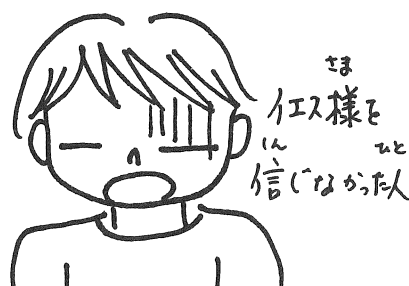
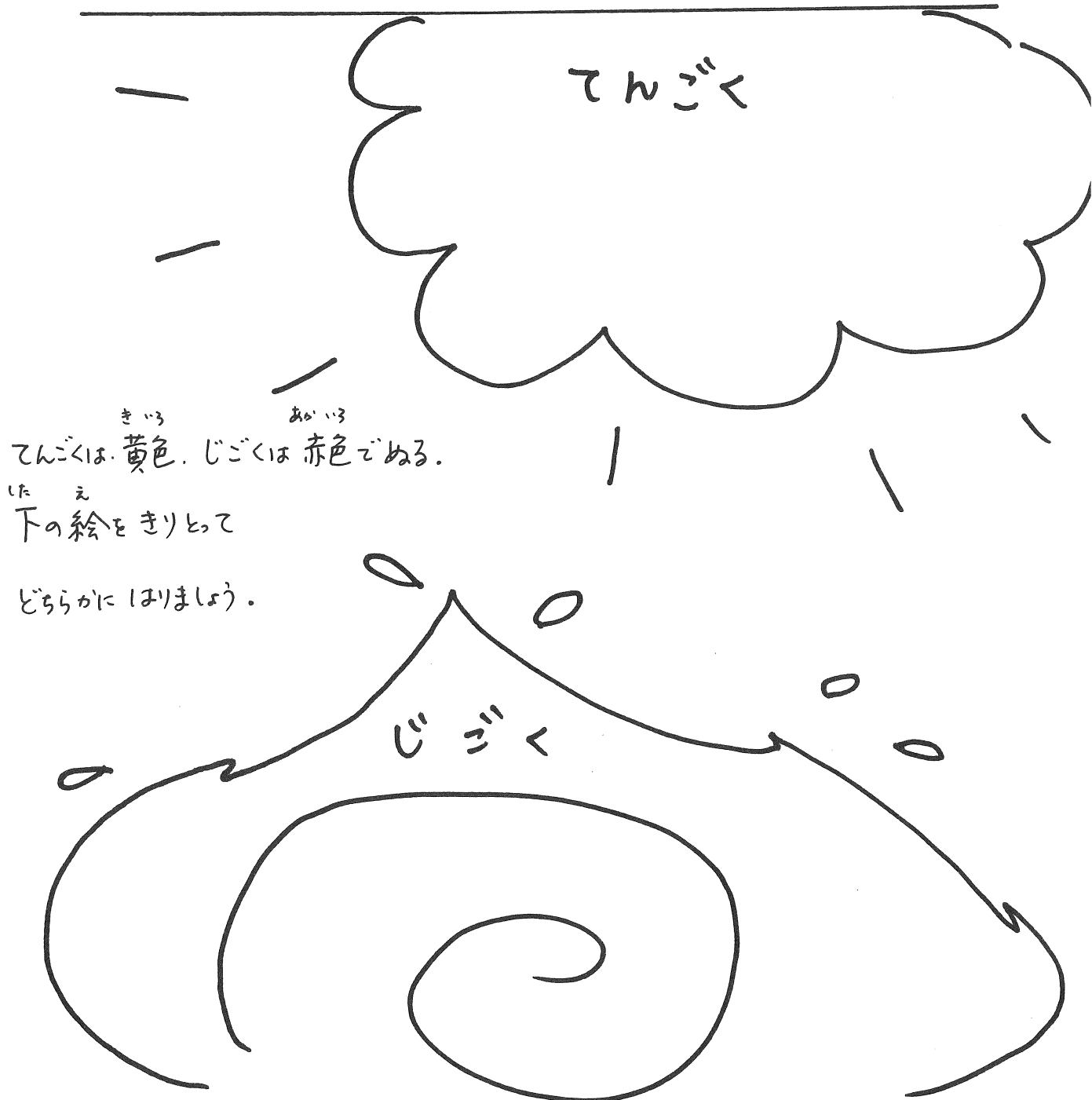


ぼく・わたし

^{さま} ^{けいこんし} ^{じぶん} ^{おな}
イエス様との結婚式です。自分の姿をかいてみましょう。
^{いろ}
色をぬり、きりとり、ならべてみてね。

A 3 / 1 1 ^{あくま} ^{さいご} 悪魔の最後

^{あたら} ^{てん} ^{あたら} ^ち ^み ^{もくしろく}
新しい天と新しい地とを見た。黙示録 2 1・1



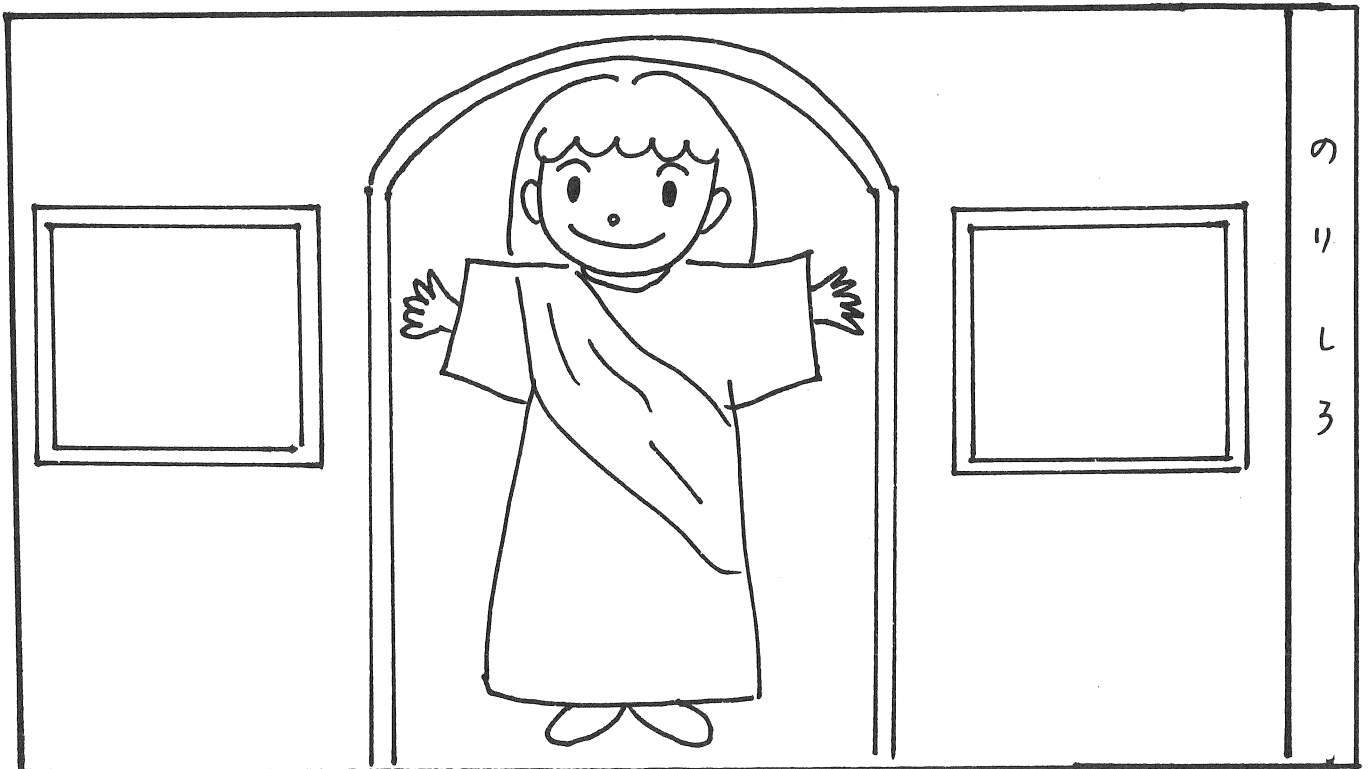
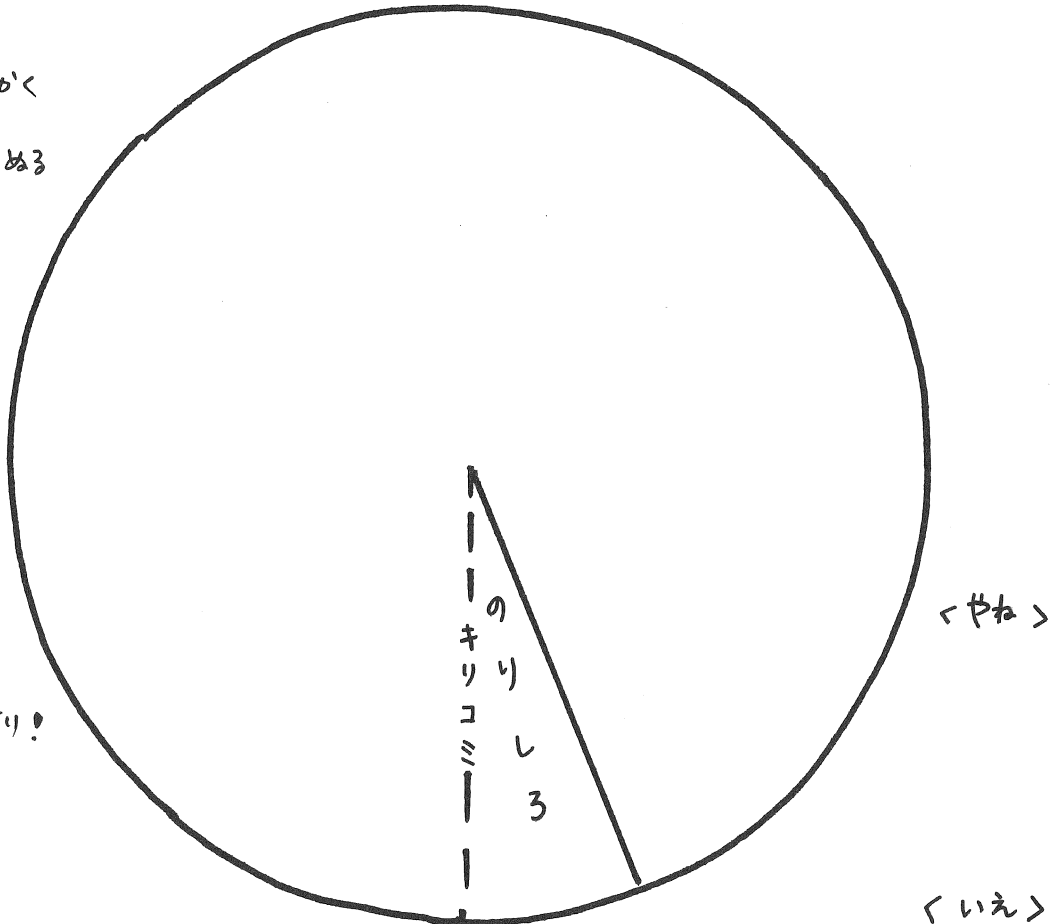
A3 / 18 ^{あたら}新しいエルサレム

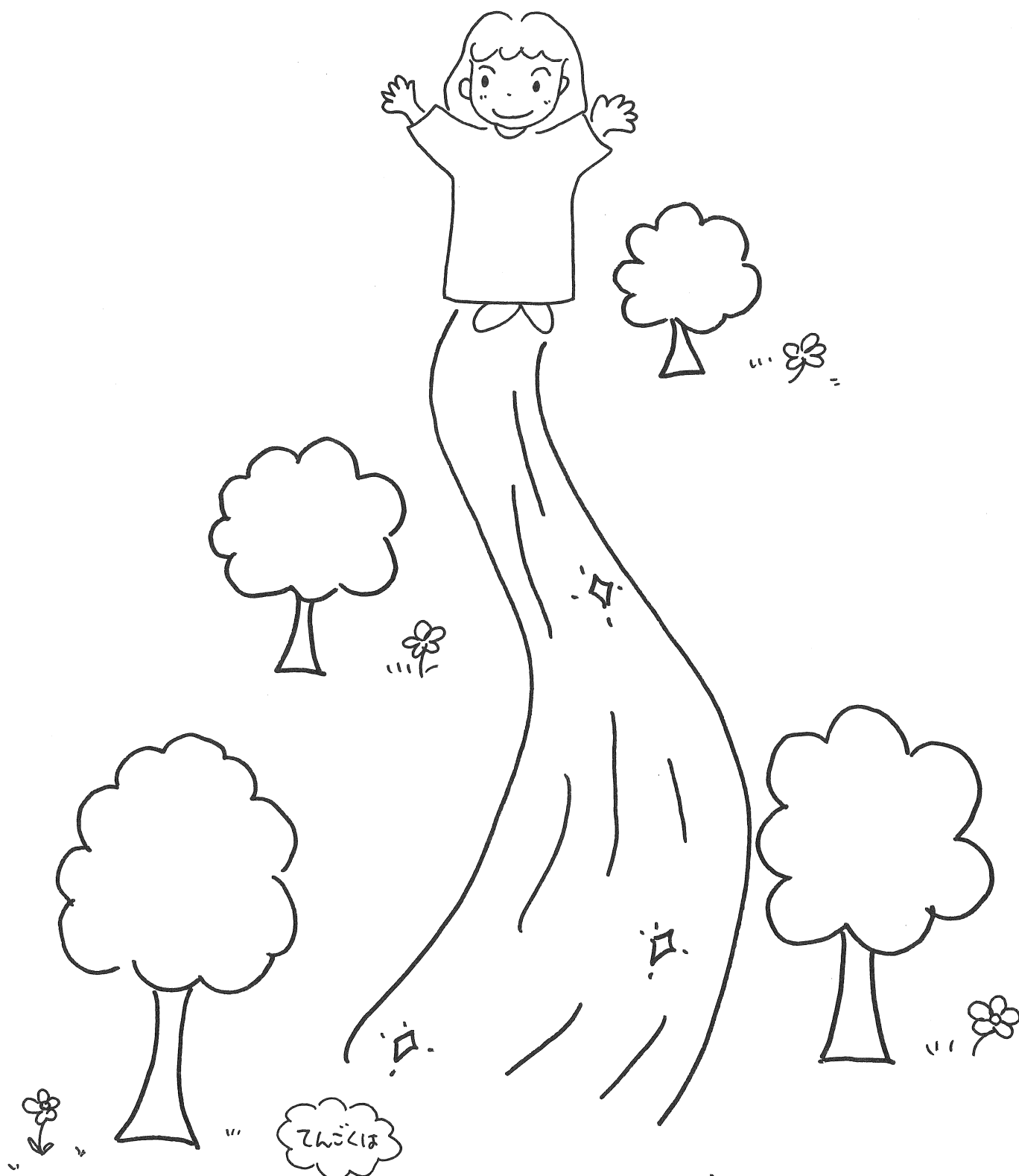
^{あたら}新しい^{てん}天と^{あたら}新しい^ち地とを^み見た。

もくしろく
黙示録 21・1

<つくりかた>

- ① いえのまどにかおをかく
- ② いえとやねにいろをぬる
- ③ 1. 2. をきりとる
- ④ いえをまるめて
のりをつける
- ⑤ やねにきりこみをいれ
かきになるように
して、のりをつける
- ⑥ やねを いえに
のせて、できあがり!





- ① まん中に、^{なが}川の^{みづ}水が、^{なが}ながれているよ。(色をぬる)
- ② ^ま川の^{しん}木には、^{しん}12種類^のの実^みがなるよ。(おいしい実をかいてみよう)
- ③ ^{かみ}神様^{さま}を^{れい}礼拝^{はい}する^{ひと}たくさん^のの人がいるよ。(わたし、かぞく、お友達^{とも}だちをかいてみよう)

ワーク A 解説 1~3月

1/7

●話し方のヒント

皆さんは砂漠ってどんな所か知っていますか？何年も雨が一滴も降らないので、水も川もなく、人も住めない所です。そこに川が流れるようになるなんて、考えられない奇跡ですね。神様は「私は新しい事をなす。砂漠に川が流れるような奇跡を起こす」と、イスラエルの民におっしゃって、本当に奇跡が起きました。バビロンに連れて行かれたイスラエルの人々が、自分たちの国に帰ることができたのです。新しい年、神様は皆さんにも新しい事、神様の奇跡を見せてくださいます。

●ワークについて

今年の目標を書き、神様に期待しましょう。

1/14

●話し方のヒント

皆さんは、聖書には何が書いてあるか知っていますか？聖書には神様の言葉が書いてあります。海と空、植物や動物や人間、全てのものを造り、何でも知っておられる神様が、本当に正しい事、間違っている事が何かははっきりわかるように、私たちのために書いてくださいました。また、私たちの心がいつも元気でいられるためにも書いてくださったのです。毎日少しずつでも聖書を読んで、神様の子どもとして整えていただきましょう。

●ワークについて

聖書は神様の言葉であることを、しっかり確認しましょう。

1/21

●話し方のヒント

教会ではいつもお祈りをしますが、「お祈り」って何でしょうか？「お祈り」は神様とお話することです。私たちが嬉しい事、悲しい事、困った事をお祈りして話すことを神様は喜ばれます。また、神様は私たちがお祈りする時、神様のすばらしい力をあらわしてくださいます。皆さんが自分のために、またお友だちのために、「神様の力が欲しい！」と思った時には、神様にお祈りしましょう。神様がすばらしい力をあらわしてくださいます。

●ワークについて

自分のために、またお友だちのためにも、いつもお祈りしましょう。

1/28

●話し方のヒント

皆さんはなぜ毎週教会学校に行くのでしょうか？ゲームをするためでしょうか。プレゼントをもらうために行くのでしょうか。違います。私たちが教会学校の礼拝に出席するのは、私たちのことを誰よりも愛してくださるイエス様の事を忘れずに信じていくためです。教会学校で讃美歌を歌う時、イエス様の事を喜んで賛美しましょう。聖書を読みお話を聞く時は、イエス様があなたにお話してくださっていると思って聞きましょう。そうすれば、もっともっとイエス様を好きになって、信じていこうという気持ちになりますよ！

●ワークについて

神様の子どもとして、大切な5つのことを覚えましょう。

2/4**●話し方のヒント**

皆さんは「礼拝」って何をすることか知っていますか？「礼拝」は私たちを愛し、私たちの罪をゆるし、私たちに永遠の命を与えてくださった神様に「ありがとう」の気持ちをあらわし、神様に喜んでいただくことです。神様は私たちの目も耳も口も、手も足も心も、神様のために用いることを喜んでくださいます。私たちのからだと心、全身で神様を喜んで力一杯賛美し、お祈りし、み言葉を聞き、献金しましょう。日曜日だけではなく、毎日、私たちのからだを神様のために用いましょう。

●ワークについて

「すべてはイエス様のもの」を賛美しながら、神様に喜ばれることを具体的に知りましょう。

2/11**●話し方のヒント**

皆さんは、いつも兄弟やお友だちとけんかをしないで、仲良く過ごしていますか？私たちはみんな顔もからだも思いも違う別々の人間ですが、神様は「あなたたちは一つです。けんかをせずに平和に過ごしてください」とおっしゃいました。そのために大切なことは「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」ことです。お友だちが喜んでいる時、あなたも一緒に喜ぶなら、気持ちが一つになって仲良くできます。お友だちと一緒に心になれるように、神様にお祈りして助けていただきましょう。

●ワークについて

今日のみ言葉をしっかり覚えましょう。

2/18**●話し方のヒント**

「もったいない」という言葉を聞いたことがありますか。物を大切にするのは大切なことですが、神様に献金をお献げするとき、皆さんはそのような心で献げたことはありませんか。

神様は、ご自分の一番大切な宝物であるひとり子イエス様さえも、私たちに与えてくださいました。その神様のご愛に感謝して、私たちも喜んで神様への献げものをしましょう。

●ワークについて

どのような献金があるか、教師が説明してあげてください（誕生日感謝、海外宣教、飢餓対策ほか）。

2/25**●話し方のヒント**

以前学んだパウロさんのことを覚えていますか。いろんな町に出かけて行って、イエス様のことをお伝えしましたね。牢屋に入れられたり、殺されそうになったりしたこともありました。でもパウロさんはイエス様を伝えることをやめませんでした。それは、イエス様の大きな愛を知り、神様から自分に与えられた大切なお仕事だと思っていたからです。私たちも家族やお友だちに喜んでイエス様のことをお話ししましょう。

●ワークについて

みんなが天国へ行けるように、イエス様のことをお伝えしましょう。

3/4**●話し方のヒント**

パンパカパーン！ 皆さんは結婚式に出席したことがありますか。花嫁さんは真白なドレスを着てとってもきれいですね。やがて天国においてイエス様との結婚式が行われます。花嫁は、イエス様を信じて十字架の血によって罪をきれいに洗っていただいた人たちです。花婿であるイエス様は、もうすぐ花嫁である私たちを迎えに来てくださいます。あなたもイエス様を救い主と信じて、イエス様の花嫁としていただきましょう。

●ワークについて

あなたはイエス様の花嫁となる準備ができていますか。

3/11**●話し方のヒント**

皆さんは、悪魔は本当にいると思いますか。神様が目に見えないように、悪魔も目で見ることにはできません。悪魔は神様に従うことが大嫌いです。そして私たちにも神様に従わないで、悪いことをするように誘惑してきます。でも悪魔は燃える火の池に投げ入れられて、最後は神様によって滅ぼされてしまいます。私たちは悪魔と同じところに行くのではなく、イエス様を信じていのちの書に名前を書いていただいて、輝く天国へ導いていただきましょう。

●ワークについて

あなたの行き先はどちらでしょうか。

3/18**●話し方のヒント**

新しいピカピカの家に住めたらうれしいですね。神様は、イエス様を信じる人たちのために、新しい天国のお家を用意してくださいます。そこは神様が一緒に住んでくださるので、苦しみや悲しみ、死ぬこともない新しい世界です。天国のお家ができたなら迎えに行きます、とイエス様は言われました。イエス様のお約束を信じて、新しい天国のお家を楽しみに待ちましょう。

●ワークについて

天国のお家を目指して進みましょう。

3/25**●話し方のヒント**

天国の夢を見たことがありますか。聖書には、天国がどのようなところか、はっきり書いてあります。水晶のように輝くいのちの水の川が流れていて、川の兩岸には毎月12種類の実がなる、いのちの木があります。天国で私たちは神様の御顔をはっきりと見て、いつも礼拝することができます。イエス様が十字架にかかって天国への道を開いてくださいました。天国のゴールを目指し、最後まで神様を信じて、お従いしていきましょう。

●ワークについて

天国を思い浮かべて描いてみましょう。